

稚内南小学校だより「まこと」

誠



■発行日 令和7年6月30日
■発行者 稚内市立稚内南小学校
■Tel 0162-23-3329 FAX 22-7924
■HP:
<https://wakkanai-minami-e.edumap.jp/>
■QRコード



幼稚園や保育所等との連携について

校長 三野宮 誠 一

5月末から6月初旬にかけ、幼稚園・保育所の皆様と主に新1年生のことに関する懇談の場をもちました。ご多用の中、授業参観や懇談にお越しいただきました代表者の皆様に感謝申し上げます。

現在、小・中学校や高校では「主体的・対話的で深い学び」が求められており、南小学校でも「**児童が客体ではなく、主体となりえる教育活動づくり**」を目指しています。それは幼稚園や保育所でも一緒であることは保護者の皆様はご存じのことと思います。マイクロソフトの生成AIであるCopilotに「幼稚園・保育所の教育で、今、一番大事にされていることは何？」と尋ねたところ、次の回答がありました。

「現在、最も重視されているのは、**幼児の主体性を育む**ことです。子どもたちが自ら考え、選択し、行動する力を養うことが重要視されています。特に、『遊びを通じた学び』が強調されており、自由な遊びの時間を確保することで、創造力や社会性を伸ばすことが目的とされています。」

続けて「保育現場ではどのように主体性を育んでいますか？」と尋ねたところ、次の回答がありました。「例えば、以下の方法が実践されています。○ **遊びの選択肢を増やす**：子どもが自分で遊びを選べるように、コーナー別に遊び場を設けることで、興味のある活動に主体的に取り組める環境を整えます。○ **指示を最小限にする**：保育者が過度に指示を出さず、子ども同士で話し合いながら活動を進めることで、自分で考え行動する力を養います。○ **主体性を促す声かけ**：「どうしたい？」と問いかけることで、子どもが自分で決定する機会を増やします。○ **活動の決定を子どもに委ねる**：その日の活動内容を子どもたちと相談しながら決めることで、自分の意見を持ち、発言する習慣を育てます。」

2017年に改訂された「幼稚園教育要領」

「保育所保育指針」では、「**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**」が明示され、幼稚園・保育所等の教育方針が統一されるなど、主体性を

育む教育がより体系的に進められるようになりました。この流れは、子どもが自ら学び、社会で活躍できる力を育むための重要な基盤となります。

このように幼稚園や保育所の教育活動も義務教育段階と同様、大きく変化しています。小・中学校で勤める者は、「**幼児期における子ども達には『遊びを中心とした体験的な活動からの学び』が必要であること**」や、「**小学校1年生には、幼稚園等で学んだことを生かしながら、体験的な活動を中心としたカリキュラムを通して学んでいく環境をつくらなければならないこと**」を理解していなければなりません。

また、Copilotが回答した4つの実践例は、まさに今、小・中学校の教育活動で求められていることとなります。南小学校でも授業や諸活動の中で、「**児童に選択と自己決定の機会をたくさんつくること**」や「**教員が児童を主導する時間を減らし、児童が自己調整しながら個の学びや協働的な学びを進める時間を増やすこと**」を目指しています。本校の卒業生の大半が進学する南中学校も同様です。外壁に掲げられている垂れ幕からは、「生徒が主役」となる学校を目指していることがわかります。

稚内市では小学校と幼稚園等が検討・協議を重ねた上で、小学校入学後の「**スタートカリキュラム**」を作成し、令和6年度からそれらをベースに1年生の学校生活を各学校ではつくっています。南小学校の教員が幼稚園等での教育活動を参観する機会は限られており、かつ、参観者も年間で数人にとどまっています。まずはどのような活動が幼稚園等で展開されているかを全教員が見て理解することから始め、幼稚園教諭や保育士の皆様の知見を小学校でのカリキュラムにも生かしていければと思います。

私は低学年担任に、幼稚園・保育所でどうだったのか、どうしていたのかを子ども達に聞きながら、選択と自己決定の場をたくさんつくってもらいたい、と伝えています。児童一人一人にとって過ごしやすい学習・生活環境を整えることに努めてまいりますので、お気づきの点がありましたら担任までお願いいたします。

子ども達への声援ありがとうございました

6月14日（土）、稚内南小学校運動会を開催いたしました。当日朝まで天候が不安定でしたが、競技開始時刻には晴天となり、子どもたちは元気いっぱいで全力を出して頑張っていました。

日頃の体育の学習とつなげ、走力アップや体力の向上を図ってきました。各学年種目は協同性や児童の一人一人の思考を大事にした取組を行い、工夫の感じられる活動であったかと思えます。また、ブロック種目の「南風」「南中ソーラン」では、ブロックやクラスのつながりが感じられ、それぞれ見応えがあり、子どもたちの頑張り・成長が見られる運動会となりました。そして何よりも保護者の皆様の応援が子どもたちのやる気につながっていました。

学校は今後も授業を中心とする教育活動全体で、子どもたちの心と体の成長を図っていきます。今後とも稚内南小学校への応援をお願いいたします。



学校・家庭における 熱中症対策の徹底について

STOP! 熱中症!

令和7年(2025年)6月 北海道教育委員会

子どもたちの健康を守るために

6月に入り、北海道においても本格的に暑くなる時期を迎えました。道内の各学校においては、運動会や体育祭、部活動など、屋外で活動する機会が増えてきておりますが、それに応じて、熱中症のリスクも高まっています。

子どもたちの生命と健康を守るためには、学校と保護者の皆様が連携・協力して、子どもたちが毎日安心して学校生活を送ることができる環境を整備することが重要でありますことから、保護者の皆様には、下記の事項について、ご理解とご協力をお願いします。

保護者の皆さまへのお願い

- 暑さが予想される日には、水分補給のために、**大きめの水筒の持参**をご検討ください。
また、体内から熱を効果的に逃がすことができるよう、**透湿性や通気性のよい衣服の着用**をご検討ください。
- 日頃から、**十分な睡眠、適度な運動、バランスの取れた食事**など、規則正しい生活を送るとともに、常に**自らの体調を確認**するよう促してください。
- 学校生活全般において、**具合が悪くなった場合には、ためらうことなく、教員に申し出る**よう伝えてください。
- 家庭での様子から、**お子様の体調がすぐれなかったり、疲労の蓄積が見られたりする場合は、事前に学校までお知らせ**ください。
(教員がより注意深くお子様を観察することにより、熱中症リスクの軽減につながります)

7月の行事予定

日	曜	行 事 予 定
1 日	火	平和折り鶴の取組(3・4時間目)
2 日	水	体力テスト(2・5年 水泳学習(午前1年・午後3年)
3 日	木	手をつなぐ子らの交流会①
4 日	金	手をつなぐ子らの交流会②
5 日	土	北門神社祭
9 日	水	水泳学習(午後2年)
11 日	金	クラブ③
15 日	火	授業参観・懇談(5・6年・きらり)
16 日	水	授業参観・懇談(1・2年) 水泳学習(午後3年)
17 日	木	授業参観・懇談(3・4年) 水泳学習(午前1年)
18 日	金	クラブ④
21 日	月	海の日
22 日	火	防犯教室(午前1～6年)
23 日	水	クラブ⑤
24 日	木	大掃除
25 日	金	終業式(夏季休業7/26～8/24)
26 日	土	南中ソーラン祭(6年生参加)

稚内も気温が上がり、暑くなってきました。学校においても、熱中症対策の徹底を図りながら教育活動を進めています。北海道教育庁からの保護者の皆様への資料を添付いたします。ご協力をお願いいたします。